

2012年 4月 7日(土) 6 月 **3** 日 (日) 休館日 5月14日 (月)

開館時間 4月7日-5月31日 9:30-17:00 入館16:30まで 6月1日-6月3日 9:00-18:00 入館17:30まで

主 催 フィンランドのくらしとデザイン展実行委員会 **(青森県**立美術館、青森朝日放送、青森県観光連盟、 <mark>あおも</mark>りデザイン協会、

あおもりインテリアコーディネーター倶楽部)

- 協 賛 株式会社千葉室内
- フィンランド大使館、フィンランドセンター、 東奥日報社、陸奥新報社、デーリー東北新聞社
- 協力 フィンエアー、社団法人日本フィンランド協会、

小海フィンランド協会、Artek、littala、<mark>Marimekk</mark>o Corporation、 弘前大学北日本新エネルギー研究所、青森県菓子工業組合、 青森市タクシー協会、深浦町

企 画・運営協力 株式会社キュレイターズ / 企画協力 宇都宮美術館

展覧会特設ウェブサイト

www.finland-design.com



カイ・フランク 《「ティーマ」シリーズ》 現行製品(デザイン:1979-80年) イッタラ ©littala



トーヴェ・ヤンソン 《雪のなかのムーミンとミィ》 制作・初版1957年 タンベレ市立美術館 ムーミン谷コレクション ©photo by Jari Kuusenaho/Tampere Art Museum Moominvalley



アルヴァ·アアルト 《パイミオ》 現行製品(原型1932年) アルテック社 ©Artek

関連企画

1 トークセッション「ムーミンが住む森の生活」

4月7日(土) 13:30-15:30 場所:青森県立美術館シアター トーカー:

エリナ・ボネリウス(タンペレ市立美術館 ムーミン谷コレクション学芸員) 橋本優子(宇都宮美術館主任学芸員) 池田亨(青森県立美術館学芸主幹)

2 ワークショップ「マリメッコ生地でファブリックパネルをつくる」

① 4月11日(水) 10:30-12:00 ② 4月30日(月·祝) 10:30-12:00 各日定員30名 ※要申込 参加費:2000円~ ※布の種類によって金額が異なります。 講師:あおもりインテリアコーディネーター倶楽部

3 ワークショップ「あおもり犬meetsムーミン!」

樹脂粘土でキーホルダーを作ります。 5月12日(土) 13:30-16:00 定員30名 ※要申込 参加費:1000円

4 学芸員によるギャラリートーク

会期中毎週日曜日 14:00-15:00

5 ナイトミュージアム

5月28日(月)-5月31日(木) 17:30-21:00 6月1日(金) 18:30-21:00 本展を特別料金にて観覧いただけます。 一般:通常料金 1,200円 → 特別料金 1,000円

- ※ ギャラリートーク・ワークショップ時に 託児サービスを実施します(要申込)。
- ※ ワークショップお申込みは開催1ヶ月前より開始 (休館日の場合は翌開館日より)、 電話のみにて受け付けます。
- ※ 関連企画の詳細は、HPをご覧ください。

お問合先

フィンランドのくらしとデザイン展実行委員会 (青森県立美術館内)

〒038-0021 青森市安田字近野185

TEL 017-783-3000 www.aomori-museum.jp

フィンランドの森に住むトロール(妖精)の「ムーミン」は、画家・作家のトーヴェ・ヤンソンが生み出した童話『ムーミン』シリーズの登場人物です。ムーミンが家族や友人と一緒に森で暮らし、厳しい自然環境の中で自由と冒険の精神を育んでいくこの物語は、フィンランドの風土やライフスタイルを学ぶための良きバイブルでもあります。

トーヴェ・ヤンソンが生涯を過ごした 20 世紀、フィンランドの モダンデザインは、「全ての人々にとって、あらゆる観点から良い デザイン」を追求し、世界に大きな影響を与えました。その根底に あるのは『ムーミン』に描かれたような、「人間と自然との共存」や、「家庭や地域コミュニティでの相互扶助」を重視する、フィンランド の伝統的かつ本質的なライフスタイルに他なりません。

本展では、トーヴェ・ヤンソンの手による『ムーミン』の挿絵原画を展示し、その物語をとおして、フィンランドのライフスタイルについて紹介します。そして、フィンランド人の心の原点である神話的叙事詩「カレワラ」を題材に描いた画家アクセリ・ガレン=カレラや建築家エリエル・サーリネンの作品を通して、フィンランド近代芸術の根幹であるナショナル・ロマンチシズムを俯瞰し、その基礎の上に花開いたフィンランドの国民的建築家・デザイナー、アルヴァ・アアルトの家具やカイ・フランクの食器、マリメッコ社のテキスタイルなど20世紀のデザイン、さらにはエコハウス・プロジェクトなど、現在の公共デザインでの取り組みを紹介し、現代フィンランドのデザインの社会的意義を探ります。



マイヤ・イソラ 《生地「ウニッコ」》 綿プリント デザイン:1964年 制作:マリメッコ社 ©Marimekko Corporation



アアルト大学 建築学館 木造コース 《エコ住宅プロジェクド[Luukku House]: 完成子想レンダリング) 2010年 アアルト大学建築学部 木造コース提供 ©Alato University, Department of Architecture, Wood Program



アクセリ・ガレン=カレラ 《オオヤマネコの巣穴》 1906年 フォータム美術財団所蔵 photo®Rauno Träskelin

入場料

一般 1200 (1000) 円、高大生 700 (600) 円、小中生 300 (200) 円 ※() 内は前売および20名以上の団体料金

※ 心身に障がいがある方と付添者1名は無料

※ 小・中・特別支援学校の児童生徒及び引率者が、学校教育活動として 観覧する場合は無料

前売券発売所: ローソンチケット、チケットぴあ、県内各プレイガイド等

アクセス

- •JR新青森駅からルートバスねぶたん号(左回り) 新青森駅南口バス停乗車「県立美術館前」下車(約10分)
- •青森駅から青森市営バス青森駅前6番バス停乗車 運転免許センター行き「県立美術館前」下車(約20分)
- •青森空港から車で約20分
- •東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分



表面:トーヴェ·ヤンソン 《シャンデリアとご先祖様を見上げるムーミン》 制作・初版1957年 タンベレ市立美術館 ムーミン谷コレクション @photo by Jari Kuusenaho/Tampere Art Museum Moominvalley